

■令和8年度第1回柳井市地域公共交通協議会 議事録

日 時：令和8年6月4日（木）16：00～17：15

場 所：柳井市役所3階大会議室

出席者：井原健太郎、宮本裕、藤井崇、河村良太郎、末廣和孝、西嶋俊輔、切戸泰、井上健
（代理：村尾武司）、磯部浩昭、田川勇、時光善朗、笹木徹信、崎原孝就、沖本秀司、沖永佳則
田中一美、堀内洋、榊原弘之、寺崎泰弘（代理：松村昌彦）、吉森照通（代理：出田悠介）
有道茂一

欠席者：福田季広、岡原文隆、石川俊康、児玉良弘、井上重久、鈴木進

事務局：水村康弘（商工観光課長）、石川義之（商工観光課長補佐）、杉山徹（商工観光課主査）
出相貴一郎（商工観光課職員）

1 開会あいさつ

会長 国勢調査速報、全国的な人口減少や出生数の減少の進行に伴い、公共交通を利用する住民と交通サービスを支える担い手の双方が減少している現状である。今後の地域公共交通を取り巻く環境は一層厳しさを増すため、協議会における実務的な議論と関係者間の連携が重要である。

（出席状況報告）

事務局 委員数27名のうち、出席者21名、委任状提出者4名、本協議会規約第7条第2項の規定により、本会議は成立していることを報告。

（役員指名）

会長 本協議会規約第5条第3項により、副会長に宮本裕氏、榊原弘之氏、監事に切戸泰氏、崎原孝就氏を指名。

（議長選出）

事務局 本協議会規約第7条第3項により、出席委員の中から榊原副会長を推薦し、了承を得る。

2 議題

（1）令和7年度事業報告・決算報告について

事務局 資料1について事務局が説明。
監査 相違がない旨を報告。
議長 この議題について承認してよろしいか。
委員 （異議なし）
議長 承認とする。

（2）令和8年度事業計画(案)・予算(案)について

事務局 資料2について事務局が説明。
委員A 令和7年3月に策定された柳井市地域公共交通計画に基づき、施策の進捗管理やPDCAサイクルを確認すること。
議長 この議題について承認してよろしいか。
委員 （異議なし）

議長 承認とする。

(3) 地域内フィーダー系統確保維持計画について

事務局 資料3について事務局が説明。

委員B 柳井市地域公共交通計画では収支率21.0%を目標にしているが、昨今の物価高の中、収支率向上のための取組は考えているのか。

事務局 各地区社会福祉協議会と連携しながら利用促進策を検討していく。

委員A 人件費の高騰や担い手不足により、支出削減は容易ではなく、今後は利用者増加や相乗り率向上がポイントとなる。

議長 この議題について承認してよろしいか。

委員 (異議なし)

議長 承認とする。

3 報告事項

(1) おでかけサポート事業の実績報告について

事務局 令和7年度(半年間)の実績として、申請者数568人、利用回数1,581回、1人当たり平均利用回数は、約2.7回であった。

令和8年度からは、高齢者おでかけサポート事業を統合し、全年齢層を対象とする制度に拡充した。15～74歳には12,000円分、75歳以上には24,000円分を交付し、介護タクシー等を含む参加事業者も拡大した。

5月21日時点で申請者数2,370人、利用回数6,001回となっており、利用が大きく伸びている。

委員B 事業を統合したため、柳井市地域公共交通計画に設定した指標「高齢者おでかけサポート事業の申請率40%」との整合性はとれているのか。

事務局 今後計画の指標の整理や評価方法を検討する。

委員A 外出機会の増加や免許返納促進など交通分野以外への波及効果についても検証してはどうか。

(2) 平郡航路代替船建造の進捗について

事務局 建造事業者として藤原造船所を選定し、共有船建造申込協定を締結、JRJTへの申請を完了している。今後は令和8年7月に契約締結、令和9年1月に起工、同年9月に引渡し、12月に就航を予定している。

(3) 山口県地域公共交通ビジョンの策定について

県交通政策課 人口減少、運転手不足、利用者減少等を背景に、県と市町が連携して広域的な公共交通の将来像を整理するもので、令和8～9年度の2年間で策定作業を進める予定である。

あわせて、人流データやICカードデータ等を活用した交通データ基盤の整備を行う予定であり、今後の政策立案や効果検証への活用が期待される。

委員C モビリティデータの基盤の構築、予約制乗合タクシーのデータは登録できるのか。

県交通政策課 現時点ではICOCAのデータを考えている。なるべくほかのデータも活用できるよう検討する。

委員D 個人情報の取扱いはどうなるのか。

事務局 今回の基盤は県が主導であり、もちろん個人情報取扱いの法律は遵守する。またDX化となると高齢者への対応やシステムの導入コストも考えなければならない。引き続き国や県と協議する。

委員 A 広域で取り組むべき課題は県が担い、地域の実情に応じた施策は市町が担うなど、役割分担を整理しながら進めることが重要である。

4 閉会あいさつ

会長 来年度からの10年間、第3次柳井市総合計画を作成するに当たり、市民懇談会を開催する。柳井市の公共交通は利用者、担い手も少ないが重要度は高まっている。委員の皆様にはぜひお運びいただき、他の市民の方にも参加するよう声をかけてほしい。

第2次柳井市総合計画における交通計画は、“人にやさしい公共交通の充実を図り、新しい交通システムなどの交通手段の充実”であった。今は乗合タクシーや平郡航路などの事業を展開している。10年間の総括も踏まえてご意見を賜りたい。

議事を終了

閉会